

2025 年 8 月 27 日

各 位

株式会社 SBI 新生銀行
代表取締役社長 川島 克哉**個人向け預金口座数 400 万口座達成のお知らせ
～SBI グループ入り後に顧客規模が 1.3 倍に拡大～**

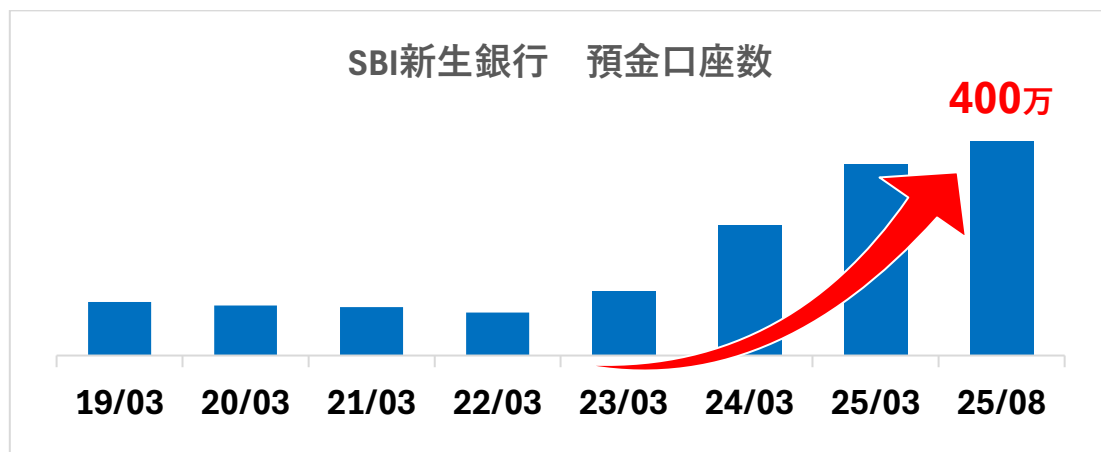
株式会社 SBI 新生銀行（代表取締役社長：川島克哉）は、2025 年 8 月 25 日時点での個人向け預金口座数が **400 万口座** を達成したことをお知らせします。SBI グループ入りした 2021 年 12 月から 3 年 8 ヶ月で約 95 万口座増加、顧客規模は 1.3 倍に拡大しております。なお同期間におけるリテール預金量は約 3 兆円増加いたしました。

当行は 2021 年 12 月に SBI グループ入りして以来、SBI 証券および SBI マネープラザ等、SBI グループ各社とのシナジーを追求し、顧客基盤の拡大に注力してまいりました。2023 年 4 月からは SBI 証券との自動入出金サービス、同年 6 月からは SBI 証券との同時口座開設を開始いたしました。商品・サービス面でも、お客さまにとって魅力ある金利を円預金と外貨預金の双方で提供し、特に SBI 証券の口座をお持ちのお客さまには当行最上位ステージであるダイヤモンドステージを提供し、振込や ATM 手数料だけではなく、円普通預金金利も競争力のある水準に引き上げております（税引前 年 0.4% 2025 年 8 月 25 日現在）。このような施策がお客さまに支持され、このたび 400 万口座達成となりました。

SBI 証券によるオンラインでの国内株式売買手数料を無料化する「ゼロ革命」の実施等、すべてのお客さまの投資に対するハードルを劇的に下げる施策を展開してきた結果、2025 年 3 月 10 日時点で SBI グループの証券各社において「国内初となる証券総合口座 1,400 万口座」(※) を達成しています。また、SBI グループでは、グループ証券口座数 3,000 万を早期に達成することを目指しているほか、新中期ビジョンにおいてグループ各社の顧客基盤 1 億件の達成を目標として掲げております。

(※) 口座数には、SBI 証券のほか SBI ネオトレード証券、FOLIO の口座数を含みます。「国内初」について、比較対象範囲は日本証券業協会の会員 264 社です。（2025 年 3 月 11 日現在、各社公表資料等より株式会社 SBI 証券調べ）

当行もさらなる顧客基盤の拡大に向けて、SBI 証券をはじめとする SBI グループ各社との商品開発・サービス連携を強化し、今後も SBI グループが掲げる「顧客中心主義」のもとで、より一層のサービス向上に努めてまいります。



以上

お問い合わせ先
SBI新生銀行 サステナビリティ&コミュニケーション統括部
報道機関のみなさま: SBIShinsei_PR@sbishinseibank.co.jp